



農林大学校の動き(H31年1月)

2019. 2. 6

島根県立農林大学校 (担当: 教育部 松本)

TEL: 0854-85-7011 FAX: 0854-85-7113

<https://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

農林大の学生達の日頃の活動状況、いろいろな行事などを簡単にご紹介します。



○ごうつコケプロジェクト研修会にて卒論課題発表(11/27)

本校花き専攻2年生の学生1名が、卒論で「コケ営利生産における現地課題の解決研究」について鋭意取り組んでおり、その研究成果を現地に提供し、生産振興に資するために発表会を行った。質問が多かったが、質問内容に的確に受け答えしていた。



○農業科1・2年生が法人経営などを学ぶ(11/27)

「(株)おかずくらぶ」岡康之氏に講演いただき、農大卒業(H14年度)後海外研修を経て親元就農、法人設立までの経緯や経営規模拡大のノウハウなどを学んだ。「農業を楽しむ」という前向きな考え方から学生達は「挑戦や努力をしていきたい」という積極的な姿勢が見られるようになった。また、(有)旭養鶏舎の加工場を見学し、6次産業化についても学んだ。



○護身術講習会を開催(1/8)

本校女子学生19名が自分の身を守るための護身術について、大田警察署員から実技指導を受けた。



○平成30年度中国ブロック農業大学校等意見発表会(1/16:徳島市)

中国ブロック各県農業大学校等の1年生の代表6名が、大学校における実践学習、我が家の農業経営や生活、地域の農業環境、就農等について、自らの学校生活を通じて日頃考えていることや思い等について意見を発表した。

【本校代表意見発表タイトル】

・大好きなふるさとを活性化させたい！～農業を通して～(有機農業専攻)



○平成30年度中国四国ブロック農業大学校等プロジェクト発表会(1/16、17:徳島市)

中国四国ブロック各県の農業大学校等の学生が、自ら考え、自ら実践したプロジェクト学習において、その成果と今後の展望を発表した。

【本校代表プロジェクト発表タイトル】

・優良系統「デラウェア」のGA1回処理における適正マンガン濃度の確立(果樹専攻)

・「森のようちえん」の現状と課題(林業科)



○卒論発表会を開催(1/17:中山間地域研究センター)

林業科2年生による卒業論文の発表会を島根森林管理署職員、中山間地域研究センターの研究員、県地方機関の職員ら約40名の参加を得て開催し、研究の成果を披露した。

1月号 (その2)



○第2回日本農業技術検定(12/8)の結果

2級1名、3級5名が合格し、3級取得者が86%、2級以上取得者が25%となった。難関の1級の合格者はいなかった。

○農業法人協会と農林大生の交流会を実施(1/25)

法人協会11社の経営概要について説明を受けた後、3グループに分かれて意見交換を行った。参加学生は農業科1年生の就農希望の22名。「社会人としてのマナーの重要性について」等貴重な助言・提言を頂いた。

皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。